

昭和陸運

建築作品の仕上がり

SRグループ 新社屋が完成

【広島】今年1月社を抱き込むように
に着手していた「S
Rグループ」(福山
市)の新社屋が完成
し、11月26日から営
業を開始した。日本
運(荒木栄作社長)



荒木栄作社長

設計された3階建て
で、延べ床面積は以
前の4倍となる16
65平方メートル。昭和陸
運(荒木栄作社長)
や、グルー
プの持ち株
会社である
SRホール
ディング
ス(同)な
どの本社を
はじめ、グ
ループ各社の管理機
能が入居している。
新幹線や国道2号
からも見える立地の
社屋は「建築作品
として残したかつ
た」(荒木社長)と、
ミュージアムの秀囲
気を感じさせる。1
階ホールの右手には
「こんな街になれば
…との思いで制作し
た」(同)という未
来の福山市を詰め込
んだ縦横2階のジオ
ラマを展示。その奥
には1000人規模で
開けるセミナール
ムがあり、一般への
貸し出しにも応じ
る。

イメージ作りにも一役買う



営業や管理の機能
が集まる2階には3
つの応接室が設けら
れているが、それぞ
れにダヴィンチ、コ
ロンブス、ガウディ
と名前が付く。「応
接室1や2だと訪問
者を振り分けるよう
になってしまおうし、
社員らも部屋に親し
みを感じられると思
う」(同)と説明。
ちなみに社長の部屋
はピカソ。フロア全
体にも工夫を凝ら
し、部署ごとの床に
高低差を設けること
でコミュニケーション
のバランスを図った。

連結50億円、社員
150人となった同
グループの原点であ
る昭和陸運は創業か
ら65年目を迎えてい
る。同グループは現
在、物流と商事、不
動産、サービス、ア
パレル、映像制作な
ど幅広い分野に事業
を拡大。15年前に建
てた旧日本社は内勤者
の増加などで手狭に
なっていたのに加
え、「人材確保も見
据えた企業イメージ
作りという間接的な
狙いもある」(同)
という。

はカフェ風の社員食
堂にリノベーション
した。手掛ける事業
が多岐にわたり、「ユ
ニホームを着たドラ
イバーもいればカ
ジュアルな服装、ネ
クタイ姿の社員もい
る。いろんな社員を
受け入れる包容力の
ある建物にしたかつ
た」と、ダイバーシ
ティ経営も意識した
新社屋。社員のモチ
ベーションも上がっ
ているが「初心に戻
るきっかけにしよう
…そうみんなに話し
ている」(同)という。
(長尾和仁)